

平成 30 年度

事業計画書及び収支予算書

公益財団法人 千歳青少年教育財団

## 目 次

◆ 平成 30 年度事業計画書	1
I 公益目的事業	
◇ 教育事業	2
1 学習講座開設事業	2
2 社会教育関連事業	3
3 教育機関支援事業	4
◇ 水族館管理運営事業	5
1 「サケのふるさと 千歳水族館」管理運営事業	5
2 年間パスポート会員の募集	8
◇ 情報提供活動	8
◆ 平成 30 年度収支予算書	9
◇ 収支予算書	10
◇ 正味財産増減予算書	16
◆ 平成 30 年度資金計画書	21

# 平成 30 年度事業計画書

# 事業計画書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

## I 公益目的事業

### ◇ 教育事業

定款第4条の(1)及び(2)に掲げる事業は、次の計画により行う。

#### 1 学習講座開設事業

##### (1) 千歳水族館学習事業（児童・生徒、一部一般を含む）

###### ア アクアリウム・ナイトツアー

夜の展示生物観察を主体とするガイドツアープログラムで、小学校高学年～中学生を対象とし、千歳水族館に宿泊しながら飼育業務なども体験する。  
(夏休み期間中、1泊2日)

###### イ サーモン・ツアー ～早起きはサーモンの徳～

早朝の千歳川サケ遡上観察やサケの調理体験など、小学校高学年～中学生を対象とし、サケシーズンならではの宿泊学習を行う。(10月上旬、1泊2日)

###### ウ サケふるセミナー

土日祝日を中心に、小学生や親子などの一般来館者を対象にサケの採卵などの体験プログラムやサケ皮クラフトなどの工作プログラムのほか、千歳科学技術大学や北海道大学など、外部機関と連携した教室を開催する。

##### (2) ジュニア・リーダー活動事業

###### ア ジュニア・リーダー講習会

子どもたちによる子ども会活動の活性化を目指し、その中心的な役割を果たすジュニア・リーダーの養成講習会を初級・中級・上級の3段階に分けて実施する。また、千歳水族館や魚についての講習会も行い、水族館学習支援活動を行うための基礎知識を学ぶ。(4月及び5月に前期2回、12月及び2月に後期2回の合計4回)

##### (3) シニア・リーダー活動事業

###### ア 石狩管内地域子ども会シニア・リーダー研修会

石狩管内子ども会シニア・リーダー及びシニア・リーダーに準じる会員が一堂に会し、レクリエーションの技術交換研修や活動の情報交換をしながら子ども会活動を推進、支援するリーダーの資質向上を目指す。(9月中旬)

###### イ シニア・リーダー研修会

子ども会活動及び千歳水族館学習活動を支援するシニア・リーダーが、事業の企画・立案・運営方法の研修を通して、他団体も含めた様々な事業への支援活動を担える実力の育成を図る。(3月中旬)

ウ シニア・リーダー交流会

道内各地のシニア・リーダーとの交流・情報交換を行うことにより、リーダー間のネットワークの構築と相互研鑽を図る。(3月下旬)

エ 千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業への支援活動

シニア・リーダー活動で養った経験・資質を活かして、青少年育成に係る様々な事業への支援活動を積極的に行う。(随時)

(4) 自然教室

夏休み期間中、小学校4年生から中学校3年生までを対象に、日高での集団宿泊生活や野外活動、さらには自然とのふれあいを通して、団体生活の規律を身に付ける。(8月上旬)

(5) 冬休み体験教室

冬休み期間中、小学校4年生から中学校3年生までを対象に、日高での集団宿泊生活や冬季ならではの体験、社会見学等を通して、団体生活の規律を身に付ける。

(1月上旬)

(6) 体験学習

小中学生を対象に、千歳市の特産食材や自然に関する体験教室を行い、地元への関心、知識を深める。(6月、7月)

## 2 社会教育関連事業

(1) 「千歳青少年育成推進員」の設置事業

千歳市教育委員会が委嘱している「千歳市青少年育成推進員」について、平成30年5月31日付任期満了後、教育財団が移管を受け、6月1日付で「千歳青少年育成推進員」として設置し、引き続き教育事業における地域の子どものための健全育成事業に対し支援をいただく。

(2) 緑の村キャンプ大会(千歳市子ども会育成連合会共催事業)

野外活動や宿泊生活を通して、協力・助け合いの精神を養うとともに、他地域の子どもの友情を深める。

(7月中旬～下旬、町内会(1泊2日)と一般(1泊2日)の4日間)

(3) 千歳の子どもクリスマスの集い(千歳市子ども会育成連合会共催事業)

小学校1年生以上の子どもたちを対象に、クリスマスにちなんだ創作活動やレクリエーションを通して、相互の親睦を深める。(12月上旬)

(4) ちとせっ子雪遊び(千歳市子ども会育成連合会共催事業)

冬期間運動不足になりがちな子どもたちの体力向上・健康増進を図るため、道の駅サーモンパーク千歳内のイベント広場を中心に屋外でのレクリエーションゲームを行う。(2月上旬)

### 3 教育機関支援事業

(1) 総合的な学習などへの協力

小中学校の「総合的な学習」に対応し、「サケのふ化観察学習」や「放流体験」、「人工採卵・受精体験」、「水生生物観察」、「アイヌ文化学習」など、地域特性を生かした多様な学習活動に積極的に協力するとともに、市内小中学校からの要請に応じて学芸員が出前講座に対応するなど、学校との連携を深める。

(2) 職業体験への協力

小中学校の職業体験や、専門学校・大学生のインターンシップ、博物館相当施設として学芸員実習などを受け入れ、各種教育機関に幅広く研修の場を提供する。

(3) 「サケ稚魚による子どもたちの交流事業」への協力

千歳中央ライオンズクラブが主催する市内小学生と岡山市の小学生とのサケ稚魚の飼育・放流事業に協力する。(1月～3月末)

(4) 各種生涯学習関連事業への協力

科学の祭典千歳大会や石狩管内の博物館施設連携によるサイエンスフェスティバルなど、各種生涯学習関連事業に協力し、体験メニューなどを盛り込んだブースを出展する。

## ◇ 水族館管理運営事業

定款第4条の(3)に掲げる事業は、次の計画により行う。

### 1 「サケのふるさと千歳水族館」管理運営事業

公益財団法人設立の目的である青少年の健全育成をはじめ、社会教育の振興を図るため必要な事業の一つである水族館の管理運営を行うとともに、入館者の拡大推進に努める。

#### (1) 常設展示

##### ア 水槽展示

水量 266 トンの大水槽をはじめとする大小約 40 基の水槽で、淡水・汽水域に生息する水生生物約 100 種を展示する。サケ科魚類だけでなく、国内外の淡水魚類や水生植物、鳥類のカイツブリ、爬虫・両生類、水生昆虫など、河川生態系を構成する生物種を幅広く展示し、生物の多様性や水辺生物への興味関心を高める。

##### イ 体験コーナー

ウグイ属やチョウザメ類のタッチプールや、ドクターフィッシュ（ガラ・ルファ）体験水槽、アメリカザリガニの釣堀、インディアン水車のミニチュアを設置したエサやり体験ができるドーナツ型流水水槽など、来館者が水辺の生き物と接し、より身近に感じることができる場を設ける。

##### ウ 大型スクリーン解説映像

およそ 100 インチの大型スクリーンを用い、千歳川を中心に撮影したサケの生活史や人工ふ化放流事業などについて、約 5 分間の映像で紹介する。映像は 2 ブース設け、日本語だけでなく英語の音声解説と繁体字、簡体字の字幕により、海外の来館者にも対応する。

##### エ 水中観察ゾーン

千歳川の護岸を利用した水中観察施設において、千歳川の生き物やその営み、四季折々の環境の変化などを観察する。また、DVD やコンピュータを用いた映像機器などにより、サケの生態や水中観察窓の生物などに関する解説コーナーを設置し、千歳川の魅力を伝え、生物や環境保全へのより深い理解を図る。

##### オ なるほど!?サーモンルーム（展示・学習ゾーン）

サケと人、千歳との関わりについて、食文化を中心に解説する。サケ漁の歴史や資源増加を図るための人工ふ化放流事業、またアイヌ文化におけるサケ料理や各地域の伝統的なサケ料理法などとともに、様々なサケ料理のレシピも紹介する。

##### カ 学習室

液晶プロジェクターや 50 インチプラズマディスプレイなどの映像機器を利用し、採卵実習などの各種体験教室の場として、また幼稚園や学校団体の見学時の講話や質問対応、雨天時の昼食場所などのほか、各団体における会議の利用など、幅広い活用を図っていく。

## (2) 企画展示

### ア 企画展示

館内のスロープを利用し、常設展示とは異なる様々な生物や環境問題などをテーマとした展示や、写真、絵画等幅広い分野にわたる作品展などを開催し、新たな話題を提供することでリピーターの創出を図る。

### イ サケの成長過程による季節展示

親魚が河川遡上する秋季にはサケやカラフトマス、ベニザケなどサケ属の成熟親魚を、また卵からふ化に至る冬季には、卵の発生過程やふ化、仔魚から稚魚への成長の様子など、各季節の成長段階に合わせた展示を行う。

## (3) 各種体験学習及びイベント

### ア 水族館裏方探検隊（バックヤードツアー）

希望する学校団体などを対象に、水族館の裏側探検やエサやり体験、また季節によっては展示水槽へのサケ搬入体験などを実施し、水族館についての理解を深める。

### イ サケ皮クラフト工房

サケ皮を使った靴のミニチュアやしおりなどの製作を通じ、サケを無駄なく利用したアイヌ文化の一端に触れる。

### ウ サケ稚魚放流体験

サケの回遊ルートやその生態の解説とともに、実際にサケ稚魚の放流を体験し、サケ及び人工ふ化放流事業への理解を深める。（3～5月）

### エ 季節のイベント・体験

ゴールデンウィーク、ハロウィン、鮭の日、クリスマスなどの季節行事に合わせて、より楽しみながら見学できる参加型のイベントを実施する。

### オ ちょこっと体験

冬休みや春休み、土・日・祝日などを中心に、有料でエサやり体験やバックヤードツアーなど、水族館の飼育業務に関する体験を行う。

### カ 海と日本 Project 関連事業

回転寿司の北々亭千歳店の協力と、公益財団法人日本財団、北海道大学の助成により、寿司ネタを通してサケの生態や食糧資源としての現状を学ぶ。

### キ インスタグラム・フォトキャンペーン

千歳水族館公式インスタグラムを利用し、ホームページ上に来館者が写真を投稿できるシステムを導入する。季節ごとにプレゼントが当たるフォトキャンペーンを実施し、SNSによるフォロワー数の増加と情報拡散を図る。



#### (4) 入館者の拡大推進

入館者の拡大を図るため、館内の魚類等を含めた生体展示の充実に努めるとともに、企画展やイベントを実施する。

入館促進対策として、道の駅スタンプラリー帳持参者に対する優待料金を通年適用する。

またSNSを利用したタイムリーな情報提供や、テレビ、雑誌などのメディアを有効利用した広告宣伝を実施するとともに、旅行代理店、ホテル、レンタカー、学校等教育関係者への営業活動に努める。

平成30年度入館者数の目標 : 250,000人(内、有料入館者 154,000人)

##### ア ネットワークカメラによるライブ映像配信

入館の動機付けのため、公式ホームページにおいてリアルタイムで水中観察窓及びインディアン水車(千歳川)の状況を配信する。

##### イ 多言語システムの充実

近年増加している海外からの小団体旅行(FIT)に対応するため、昨年度導入した光ID情報提供システムによる多言語解説において、現行の英語、繁体語、簡体語に、新たに韓国語、タイ語を加え、充実を図る。

##### ウ 修学旅行等の団体誘致

(一社)千歳観光連盟がコーディネートしている千歳市周辺の体験学習コースに参加し、修学旅行を含む団体客の誘致に努める。

##### エ 水族館施設の利用拡大

水族館の営業時間外にも、学習室や大水槽前を集会やサイエンス・カフェ等による利用拡大を図り、水族館の知名度を上げる。

##### オ 館内売店の設置

来館者の満足度向上及び千歳のPRを図るため、館内に財団運営による売店を設置し、水族館のグッズや千歳の特産・名産品などを販売する。

##### カ 市内小中学生年間パスポートの無料化

市内小中学生の年間パスポートの無料化を継続し、子どもたちへのサケ科魚類等の教育普及を図るとともに、保護者等同伴者も含めた入館者の拡大を図る。

#### (5) サケのふるさと村教授会との連携

市民有志による教授会に館内の案内業務や各種行事の支援をいただいております。さらなる連携強化に努めるとともに、水族館のボランティア組織として支援する。

## 2 年間パスポート会員の募集

### (1) 個人会員

加入日から1年間何度でも入館できるパスポートを個人に発行し、会員同伴者への団体割引料金適用や、会員を対象としたプレゼント抽選会などの特典を設ける。

年会費については、大人（高校生以上）を500円値上げして1,500円とし、小中学生を500円（継続）とする。

平成30年度 個人会員 目標 : 8,000人

### (2) 法人会員

加入日から1年間1回5名まで何度でも入館できるパスポートを企業・団体等に発行し、6名以上の同伴者の団体割引料金適用や、会員を対象としたプレゼント抽選会等のほか、法人名を表記したプレートを水族館入口に掲示する。

年会費については、1口10,000円（継続）とする。

平成30年度 法人会員 目標 : 80口

## ◇ 情報提供活動

### 1 サモン君だより

館内の展示や観察窓の状況、各種イベントのお知らせなどを掲載した「サモン君だより」を毎月発行し、地元新聞紙及びホームページに掲載して情報を提供する。

### 2 ホームページ及びSNSによる情報発信

公式ホームページに加え、Facebook、Twitter、InstagramなどのSNSを活用して各種イベントや企画展示、水中観察ゾーンの状況、サケに関するQ&Aなどの情報を発信するほか、ネットワークカメラによる水中観察室及びインディアン水車のリアルタイムな映像を配信し、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットなど各種デバイスへも対応する。

### 3 サモンメール

インターネット接続環境をもつ希望者に対し、展示状況やイベントなどのリアルタイムな情報をe-mailによるメールマガジンにて配信する。

## 平成 30 年度収支予算書

## 収 支 予 算 書 ( 総 括 表 )

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

(単位：千円)

大 科 目	公益目的事業 会計	法人会計	合 計	備 考
中 科 目				
小 科 目				
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	0	1	
② 特定資産運用収入	3	0	3	
③ 事業収入	94,054	0	94,054	
④ 会費収入	12,000	0	12,000	
⑤ 補助金等収入	126,826	10,686	137,512	
⑥ 施設使用料収入	5	0	5	
⑦ 雑収入	526	0	526	
事業活動収入 計 (A)	233,415	10,686	244,101	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	172,300	0	172,300	
② 管理費支出		10,531	10,531	
事業活動支出 計 (B)	172,300	10,531	182,831	
事業活動収支差額 (A) - (B)	61,115	155	61,270	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	8,600	0	8,600	
投資活動収入 計 (C)	8,600	0	8,600	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	11,214	155	11,369	
② 固定資産取得支出	4,644	0	4,644	
投資活動支出 計 (D)	15,858	155	16,013	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△7,258	△155	△7,413	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1 財務活動収入				
財務活動収入 計 (E)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① 借入金返済支出	50,000	0	50,000	
② その他財務活動支出	3,857	0	3,857	
財務活動支出 計 (F)	53,857	0	53,857	
財務活動収支差額 (E) - (F)	△53,857	0	△53,857	
当期収支差額	0	0	0	

## 収 支 予 算 書（公益目的事業会計）

（平成30年4月1日から平成31年3月31日）

（単位：千円）

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	0	1	
1 基本財産利息収入	1	0	1	
② 特定資産運用収入	3	10	△7	
1 特定資産利息収入	3	10	△7	
③ 事業収入	94,054	113,178	△19,124	
1 教育事業収入	994	1,058	△64	参加者負担金
2 水族館管理運営事業収入	90,860	110,920	△20,060	水族館入館料
3 体験料収入	2,200	1,200	1,000	餌やり体験料外
④ 会費収入	12,000	9,413	2,587	
1 個人会員会費収入	11,200	8,613	2,587	
2 法人会員会費収入	800	800	0	
⑤ 補助金等収入	126,826	116,450	10,376	
1 教育事業補助金収入	20,934	21,475	△541	
2 水族館管理運営事業補助金収入	44,378	33,684	10,694	
3 特定資産取得補助金収入	11,214	11,291	△77	
4 助成金収入	300	0	300	海と日本Project助成金
5 水族館再整備事業補助金収入	50,000	50,000	0	
⑦ 施設使用料収入	5	5	0	
1 施設使用料収入	5	5	0	
⑧ 雑収入	526	26	500	
1 運用財産利息収入	1	1	0	
2 雑収入	525	25	500	
事業活動収入 計（A）	233,415	239,082	△5,667	

(単位：千円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考							
							2 事業活動支出						
							① 事業費支出						
1 教育事業費支出													
	役員報酬支出		391	448	△ 57	教育事業費支出の説明 人件費 15,645 車両リース等経費 944 ジュニア・シニアリーダー講習会経費 1,169 緑の村キャンプ大会経費 879 冬休み体験教室経費 580 自然教室経費 494 子ども会関係経費 323 サケふるセミナー等経費 54 ちとせっ子雪遊び経費 137 体験学習事業経費 74 クリスマスの集い経費 89 ハロウィンイベント等経費 32 育成推進員経費 967 その他経費 541							
	給料手当支出		12,794	13,628	△834								
	福利厚生費支出		2,460	2,489	△29								
	報償費支出		1,531	629	902								
	旅費交通費支出		158	158	0								
	通信運搬費支出		173	173	0								
	備品費支出		81	567	△486								
	消耗品費支出		941	947	△6								
	印刷製本費支出		167	314	△147								
	光熱水費支出		42	42	0								
	使用料及び賃借料支出		1,071	1,091	△20								
	車両経費支出		944	944	0								
	保険料支出		143	105	38								
	手数料支出		4	4	0								
	食糧費支出		720	734	△14								
	原材料費支出		11	11	0								
	負担金支出		228	228	0								
	雑支出		69	21	48								
2 水族館管理運営事業費支出													
	役員報酬支出		1,171	1,344	△173		水族館管理運営事業費支出の説明 人件費 57,987 施設維持管理経費 40,249 宣伝活動費 17,906 租税公課 11,128 クーポン券等手数料 2,619 展示魚収集飼育経費 3,282 入場券印刷経費 1,246 車両リース等経費 2,310 イベント開催経費 4,577 電話郵便等通信費 915 電気・機械設備等修繕費 4,280 調査研究 431 その他経費 3,442						
	給料手当支出		41,896	40,208	1,688								
	賃金支出		6,426	9,289	△2,863								
	福利厚生費支出		8,494	8,860	△366								
	会議費支出		40	40	0								
	旅費交通費支出		3,550	3,179	371								
	通信運搬費支出		1,059	999	60								
	備品品費支出		119	0	119								
	消耗品費支出		6,639	8,431	△1,792								
	修繕費支出		4,280	5,563	△1,283								
	印刷製本費支出		820	850	△30								

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
光熱水費支出	23,123	23,551	△428	
使用料及び賃借料支出	2,151	1,591	560	
車両経費支出	2,310	2,310	0	
保険料支出	798	793	5	
手数料支出	2,619	3,457	△838	
諸謝金支出	317	297	20	
交際費支出	100	150	△50	
食糧費支出	50	50	0	
宣伝広告費支出	12,700	13,703	△1,003	
イベント費支出	4,577	3,825	752	
委託料支出	14,107	13,453	654	
原材料費支出	324	378	△54	
租税公課支出	11,128	11,203	△75	
負担金支出	1,062	982	80	
支払利息支出	0	235	△235	
雑支出	512	512	0	
事業活動支出計 (B)	172,300	177,786	△5,486	
事業活動収支差額 (A) - (B)	61,115	61,296	△181	

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	8,600	12,760	△4,160	
1 減価償却積立資産取崩収入	4,320	8,908	△4,588	
2 修繕料引当資産取崩収入	4,280	3,852	428	
投資活動収入 計 (C)	8,600	12,760	△4,160	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	11,214	11,291	△77	
1 退職給付引当資産取得支出	1,214	1,291	△77	
2 減価償却引当資産取得支出	5,000	5,000	0	
3 修繕料引当資産取得支出	5,000	5,000	0	
② 固定資産取得支出	4,644	8,908	△4,264	
1 建物附属設備購入支出	4,320	0	4,320	空調設備
2 什器・備品購入支出	324	8,908	△8,584	ドライスーツ
投資活動支出 計 (D)	15,858	20,199	△4,341	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△7,258	△7,439	181	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入 計 (E)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① 借入金返済支出	50,000	50,000	0	
1 借入金返済支出	50,000	50,000	0	H27年借入3/3年分
② その他の財務活動支出	3,857	3,857	0	
1 1年以内リース債務返済支出	3,857	3,857	0	
財務活動支出 計 (F)	53,857	53,857	0	
財務活動収支差額 (E) - (F)	△53,857	△53,857	0	
当 期 収 支 差 額	0	0	0	



## 収 支 予 算 書 (法人会計)

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1 事業活動収入				
⑤ 補助金等収入	10,686	10,782	△96	
1 管理費補助金収入	10,531	10,738	△207	
2 特定資産取得補助金収入	155	44	111	
事業活動収入 計 (A)	10,686	10,782	△96	
2 事業活動支出				
② 管理費支出	10,531	10,738	△207	
1 一般管理費支出	10,531	10,738	△207	
役員報酬支出	3,333	3,680	△347	一般管理費支出の説明 人件費 7,659 光熱水費等施設管理費 1,307 財務会計システムリース料 577 税理士報酬等経費 506 その他経費 482
給料手当支出	3,323	3,184	139	
福利厚生費支出	1,003	1,003	0	
会議費支出	20	20	0	
通信運搬費支出	18	18	0	
消耗品費支出	54	54	0	
光熱水費支出	1,307	1,306	1	
使用料及び賃借料支出	577	577	0	
保険料支出	40	40	0	
諸謝金支出	506	506	0	
租税公課支出	337	337	0	
雑支出	13	13	0	
事業活動支出 計 (B)	10,531	10,738	△207	
事業活動収支差額 (A) - (B)	155	44	111	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1 投資活動収入				
投資活動収入 計 (C)	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	155	44	111	
1 退職給付引当資産取得支出	155	44	111	
投資活動支出 計 (D)	155	44	111	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△155	△44	△111	
当期収支差額	0	0	0	

# 平成30年度 正味財産増減予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

## ○ 統括表

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増△減額	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1	0	1	
基本財産受取利息	1	0	1	
② 特定資産運用益	3	10	△7	
特定資産受取利息	3	10	△7	
③ 受取会費	12,000	9,413	2,587	
個人会員会費収益	11,200	8,613	2,587	
法人会員会費収益	800	800	0	
④ 事業収益	94,054	113,178	△19,124	
教育事業収益	994	1,058	△64	
水族館管理運営事業収益	90,860	110,920	△20,060	
体験料収益	2,200	1,200	1,000	
⑤ 受取補助金等	111,891	112,166	△275	
教育事業補助金	20,934	21,475	△541	
水族館管理運営事業補助金	44,378	33,684	10,694	
管理費補助金	10,531	10,738	△207	
特定資産取得補助金	1,369	1,335	34	
受取助成金	300	0	300	
受取補助金等振替額	34,379	44,934	△10,555	
⑦ 施設使用料収益	5	5	0	
施設使用料収益	5	5	0	
⑧ 雑収益	526	26	500	
受取利息	1	1	0	
雑収益	525	25	500	
経常収益計	218,480	234,798	△16,318	
(2) 経常費用				
① 事業費	218,746	232,506	△13,760	
役員報酬	1,562	1,792	△230	
給料手当	54,690	53,836	854	
臨時雇賃金	6,426	9,289	△2,863	
退職給付費用	1,214	1,291	△77	
福利厚生費	10,954	11,349	△395	
報償費	1,531	629	902	
会議費	40	40	0	
旅費交通費	3,708	3,337	371	
通信運搬費	1,232	1,172	60	
減価償却費	45,232	53,429	△8,197	
備品費	200	567	△367	
消耗品費	7,580	9,378	△1,798	
修繕費	4,280	5,563	△1,283	
印刷製本費	987	1,164	△177	
光熱水費	23,165	23,593	△428	
使用料及び賃借料	3,222	2,682	540	

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増△減額	備 考
車両経費	3,254	3,254	0	
保険料	941	898	43	
手数料	2,623	3,461	△838	
諸謝金	317	297	20	
交際費	100	150	△50	
食糧費	770	784	△14	
宣伝広告費	12,700	13,703	△1,003	
イベント費	4,577	3,825	752	
委託料	14,107	13,453	654	
原材料費	335	389	△54	
租税公課	11,128	11,203	△75	
負担金	1,290	1,210	80	
支払利息	0	235	△235	
雑費	581	533	48	
② 管理費	11,310	11,461	△151	
役員報酬	3,333	3,680	△347	
給料手当	3,323	3,184	139	
退職給付費用	155	44	111	
福利厚生費	1,003	1,003	0	
会議費	20	20	0	
通信運搬費	18	18	0	
減価償却費	624	679	△55	
消耗品費	54	54	0	
光熱水費	1,307	1,306	1	
使用料及び賃借料	577	577	0	
保険料	40	40	0	
諸謝金	506	506	0	
租税公課	337	337	0	
雑費	13	13	0	
経常費用計	230,056	243,967	△13,911	
当期経常増減額	△11,576	△9,169	△2,407	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△11,576	△9,169	△2,407	
一般正味財産期首残高	277,001	287,913	△10,912	
一般正味財産期末残高	265,425	278,744	△13,319	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金	60,000	60,000	0	
一般正味財産への振替額	34,379	44,934	△10,555	
当期指定正味財産増減額	25,621	15,066	10,555	
指定正味財産期首残高	187,318	176,386	10,932	
指定正味財産期末残高	212,939	191,452	21,487	
III 正味財産期末残高	478,364	470,196	8,168	

# 平成30年度 正味財産増減予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

## ○ 会計区分表

(単位:千円)

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益	1	0	1	0	1	
基本財産受取利息	1		1	0	1	
② 特定資産運用益	3	0	3	10	△7	
特定資産受取利息	3		3	10	△7	
③ 受取会費	12,000	0	12,000	9,413	2,587	
個人会員会費収益	11,200	0	11,200	8,613	2,587	
法人会員会費収益	800	0	800	800	0	
④ 事業収益	94,054	0	94,054	113,178	△19,124	
教育事業収益	994	0	994	1,058	△64	
水族館管理運営事業収益	90,860	0	90,860	110,920	△20,060	
体験料収益	2,200	0	2,200	1,200	1,000	
⑤ 受取補助金等	101,205	10,686	111,891	112,166	△275	
教育事業補助金	20,934	0	20,934	21,475	△541	
水族館管理運営事業補助金	44,378	0	44,378	33,684	10,694	
管理費補助金	0	10,531	10,531	10,738	△207	
特定資産取得補助金	1,214	155	1,369	1,335	34	
受取助成金	300	0	300	0	300	
受取補助金等振替額	34,379	0	34,379	44,934	△10,555	
⑦ 施設使用料収益	5	0	5	5	0	
施設使用料収益	5	0	5	5	0	
⑧ 雑収益	526	0	526	26	500	
受取利息	1	0	1	1	0	
雑収益	525	0	525	25	500	
経常収益計	207,794	10,686	218,480	234,798	△16,318	
(2) 経常費用						
① 事業費	218,746	0	218,746	232,506	△13,760	
役員報酬	1,562	0	1,562	1,792	△230	
給料手当	54,690	0	54,690	53,836	854	
臨時雇賃金	6,426	0	6,426	9,289	△2,863	
退職給付費用	1,214	0	1,214	1,291	△77	
福利厚生費	10,954	0	10,954	11,349	△395	
報償費	1,531	0	1,531	629	902	
会議費	40	0	40	40	0	
旅費交通費	3,708	0	3,708	3,337	371	
通信運搬費	1,232	0	1,232	1,172	60	
減価償却費	45,232	0	45,232	53,429	△8,197	
備品費	200	0	200	567	△367	
消耗品費	7,580	0	7,580	9,378	△1,798	
修繕費	4,280	0	4,280	5,563	△1,283	
印刷製本費	987	0	987	1,164	△177	
光熱水費	23,165	0	23,165	23,593	△428	
使用料及び賃借料	3,222	0	3,222	2,682	540	

(単位:千円)

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
車両経費	3,254	0	3,254	3,254	0	
保険料	941	0	941	898	43	
手数料	2,623	0	2,623	3,461	△838	
諸謝金	317	0	317	297	20	
交際費	100	0	100	150	△50	
食糧費	770	0	770	784	△14	
宣伝広告費	12,700	0	12,700	13,703	△1,003	
イベント費	4,577	0	4,577	3,825	752	
委託料	14,107	0	14,107	13,453	654	
原材料費	335	0	335	389	△54	
租税公課	11,128	0	11,128	11,203	△75	
負担金	1,290	0	1,290	1,210	80	
支払利息	0	0	0	235	△235	
雑費	581	0	581	533	48	
② 管理費	0	11,310	11,310	11,461	△151	
役員報酬	0	3,333	3,333	3,680	△347	
給料手当	0	3,323	3,323	3,184	139	
退職給付費用	0	155	155	44	111	
福利厚生費	0	1,003	1,003	1,003	0	
会議費	0	20	20	20	0	
通信運搬費	0	18	18	18	0	
減価償却費	0	624	624	679	△55	
消耗品費	0	54	54	54	0	
光熱水費	0	1,307	1,307	1,306	1	
使用料及び賃借料	0	577	577	577	0	
保険料	0	40	40	40	0	
諸謝金	0	506	506	506	0	
租税公課	0	337	337	337	0	
雑費	0	13	13	13	0	
経常費用計	218,746	11,310	230,056	243,967	△13,911	
当期経常増減額	△ 10,952	△ 624	△ 11,576	△9,169	△2,407	
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 10,952	△ 624	△ 11,576	△9,169	△2,407	
一般正味財産期首残高	—	—	277,001	287,913	△10,912	
一般正味財産期末残高	—	—	265,425	278,744	△13,319	
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
受取地方補助金	60,000	0	60,000	60,000	0	
一般正味財産への振替額	34,379	0	34,379	44,934	△10,555	
当期指定正味財産増減額	25,621	0	25,621	15,066	10,555	
指定正味財産期首残高	187,318	0	187,318	176,386	10,932	
指定正味財産期末残高	212,939	0	212,939	191,452	21,487	
Ⅲ 正味財産期末残高	—	—	478,364	470,196	8,168	



# 平成30年度 資 金 計 画 書

(単位：千円)

受 入 資 金		支 払 資 金	
区 分	受入予定額	区 分	支払予定額
基本財産運用収入	1	事業費支出	163,300
特定資産運用収入	3	管理費支出	10,501
事業収入	93,680	特定資産取得支出	11,369
会費収入	12,000	固定資産取得支出	4,644
補助金等収入	137,512	借入金返済支出	50,000
施設使用料収入	5	その他財務活動支出	3,857
雑収入	526	未払金	9,030
特定資産取崩収入	8,600	預り金	9,700
未収金	374		
預り金	9,700		
前期繰越金	0		
合 計	262,401	合 計	262,401
		差 引	0